

山口日独協会ニュース

Neuigkeiten der Japanisch-Deutschen
Gesellschaft Yamaguchi

Nr. 1 2 5, Juni 2016

山口日独協会 〒753-0083 山口市後河原94

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Yamaguchi:

Ushirogawara 94, Yamaguchi, 7530083, JAPAN

TEL/FAX : 083-920-2965

<http://www.jdg-yamaguchi.jp/> info@jdg-yamaguchi.jp

協会からのお知らせ

1 第14回山口国際交流芸術祭(共催)のご案内 (チラシを同封)

山口国際交流芸術祭は、山口県内のヨーロッパ関係の国際交流団体(山口EU協会、日独協会、日英協会、ナバラの会、日本フィンランド協会)、西京シネクラブ等が共同で開催し、ヨーロッパの文化、芸術を紹介しています。

*Event 1. 「西洋音楽発祥の地山口～ヨーロッパ特集コンサート」

- ・日時: 7月16日(土) 15:00～17:00、場所: 山口県教育会館(山口市大手町2-18)
- ・料金: 前売り～一般¥1,000, 大学生以下¥500 (当日共に¥200増)
- ・内容:

<1部> トロンボーン独奏～G. F. ヘンデル オンブラマイフ

G. C. ワーゲンザイル アルトトロンボーン協奏曲 他

トロンボーン: 小野隆洋、ピアノ: 門屋寛子

<2部> コーラス&オーケストラ～ヘンデル: オラトリオ「メサイア」抜粋

指揮: 清水宏之、バリトン: 水谷明仁、山口国際交流芸術祭管弦楽団・合唱団

*1部ではトロンボーン独奏曲を、2部のコーラス&オーケストラでは、ヘンデル: オラトリオ「メサイア」を取り上げます。全曲演奏には2時間半かかる大曲ですが、この名曲の全曲演奏に取り組んでおり、今年で4年目、全曲を演奏したことになります。この芸術祭のために学生、一般市民により山口国際交流芸術祭管弦楽団・合唱団を編成しています。トロンボーンソロ: 小野隆洋氏、バリトンソロ: 水谷明仁氏は、山口県内外で演奏活動を華々しく行っている山口県在住の演奏家です。

*Event 2 映画上映(山口国際交流芸術祭&西京シネクラブ7月特別例会*共同主催)

「黄金のアデーレ 名画の帰還」

(2015年/英語(日本語字幕) イギリス・アメリカ/109分)

- ・日時: 7月23日(土)、上映時間①10:30～ ②14:00～ ③19:00～
- ・場所: 山口県教育会館(山口市大手町2-18/TEL:083-922-5766)
- ・料金: 前売り～一般¥1,500、大学生以下¥1,000 (当日共に¥300増)

2 ドイツ語会話教室を開講しました

会話Ⅰ初級(第2・第4金曜日、講師: 渡辺アンゲリカ先生)、

会話Ⅱ中級(第1・第3水曜日、講師: エムデ・アンゲリカ先生)にて行っています。

会場は、両教室とも会員嶋田日出夫さん宅(山口市前町2-11、旧道沿いでコミュニティバスの停留所(前町)と郵便ポストが目印です。)*お問合せは、理事尾崎馨さん(083-922-6467)か、上原理事長へご連絡をお願いします。メールでも結構です



3 <フルート&ピアノ ジョイント・コンサート>のご報告

5月22日(日)、山口日産自動車㈱ポルシェセンターにて山口日独協会主催で昨年に引き続きの開催でした。「デュオ“Dos Diamonds”(ドス・ダイヤモンド)による異ジャンルの音楽を融合したコンサート」と銘打っての新しい試みが見られた、大変聴きごたえのある内容でした。アンコールは、ドイツの民族衣装を身にまとってのバイエルン地方の曲の演奏でした。録音させて頂いたので、今後の日独協会の行事で使えそうです。



4 会員の皆さんからの投稿、情報提供

(1) 山根洋平理事からの投稿です。「2016年5月フランクフルト・アム・マイン1日観光」を次ページ以下に掲載しています。

(2) 「無伴奏ヴァイオリン演奏会」～「室内楽の演奏会」Vol.14のご案内

甲原さんがお世話をされている室内楽シリーズの演奏会です。パリ在住の若手演奏家のバッハ、バルトークの無伴奏ヴァイオリン曲をお楽しみください。

山口日独協会も後援しています。(チラシを同封)

・日時：7月1日(金) 18時30分～、・場所：山口信愛教会、・入場無料

*お問合せは、各理事か上原理事長へご連絡をお願いします。メールでも結構です
上原 (TEL:083-920-2965,090-5269-4941・メール:info@jdg-yamaguchi.jp)

<会費納入のお願い>

会費：法人；10,000円、一般；2,000円、家族；1,000円、学生；1,000円

今年度の会費未納の方は、下記のとおりお願いします。支払い方法は以下のとおりです。山口銀行の場合、皆さんの通帳からATMを利用されると振込手数料は無料です。手数料節約のご協力をお願いします。

【会費納入方法】振込先：郵便局 口座番号；01550＝9＝26140 加入者名；山口日独協会
：山口銀行県庁内支店 口座番号；6171166 加入者名；山口日独協会

2016年5月フランクフルト・アム・マイン1日観光

山根洋平

仕事柄土日が休めないなので、月曜日から金曜日の連続5日間でなんとかドイツ往復旅行ができないものかと、何度も挑戦している旅行ですが、3年連続となりました。今回はフランクフルト市内観光を1日かけてしましたので、その様子を書いてみようと思います。今回の滞在では、現地(近郊のホイゼンシュタム)在住のお友達のお世話になり、1日市内観光に付き合ってもらいました。「住んでいると、あえて観光として街中を巡ることが無いから良い機会だ」と喜んで同行してもらいました、改めて感謝します。

【ツァイル(Zeil)】

大通りの両側に様々なお店が並んでおり、買い物に興味がある人は楽しめると思います。日本でいうところの商店街といったところでしょうか。私はドイツに来た時に服を買いますので、大きい街にくと服屋さんに行きます。土曜日に来ると人でごった返しているそうです。

【ガラリアカウフホーフ スカイガーデン(Garalia Kaufhof Sky Garden)】

ガラリアカウフホーフとはドイツの都市にあるデパートの名前です。ドイツでは人口が10万人いけば立派な大都市ですので、行く先々の街にはあるという印象を持っています。フランクフルトのカウフホーフの最上階(ドイツの7階・日本の8階)にあるカフェレストラン、といえいいでしょうか。屋外のテラス席からは、市街中心部を眺めながらご飯を食べたり、お茶やコーヒーを飲んだりすることができます。人気の席のようで、お昼時やティータイムの時間に行くと席はいっぱいですが、席が空くのを待っている人もいます。

【ハウプトヴァッヘ(Hauptwache)】

この駅で乗り換えをしたり、通りを歩いて移動したらまたここに戻ってきたりと交通面ではお世話になりました。駅から地上に出て教会があるのも目印としてわかりやすいです。

【ゲーテ像(Göthe)】

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテといえば「ファウスト」や「若きウェルテルの悩み」で有名なドイツを代表する文豪です。逆光で見えにくくなってしまいましたが、フランクフルトはゲーテの生家がある街ということで有名なようです。その生家はゲーテハウスとして記念館といえますか博物館といえますか展示があるようですが、そこには行きませんでした。

【レーマー広場(Römerberg)】

旧市庁舎や雰囲気のある木組み装飾の建物で囲まれた広場です。写真を撮るのにいい場所だと思います。真ん中に噴水があって、その中心の像は正義の女神だそうです。

【アイゼルナー小橋(Eiserner Steg)】

マイン川に架かるこの橋は、フランクフルト市街を望むことのできる橋です。上から見る感じではなく、横からパノラマで見渡すという具合で、フランクフルトの街は高層ビルが多いという印象をさらに強めてくれます。そしてこの橋にもまた、南京錠がびっしり引っかかっています。この、橋に南京錠を掛け、パートナーとの強い結びつきを願う、とい

う習慣は、パリのセーヌ川が発祥だったと思いますが、ヨーロッパ各地に広がり、観光地の金属製の橋には至る所に南京錠が掛けてあり、ところによっては重みに耐えられなくなって欄干を外す工事をしたとされるほど流行しているそうです。

【グリーンソース(Grüne Sause)】

昼食には、7種類の香草を用いて作られたソースを、しっかり焼いたステーキ肉とじゃがいもにかけていただき、フランクフルト名物を注文しました。美味しいか？と言われると「微妙な味」で、後からまた食べてみたくなる中毒性を私は感じました。経験として食べるのには良いと思いますが、諸手を挙げてお勧めできるものではありません。

【欧州中央銀行(EZB)】

英語名 European Central Bank、ドイツ語名 Europäische Zentrale Bank ということで、高い建物の前の公園には、ユーロマークのモニュメントが置いてあり、それを背景に記念撮影をする人が多いです。ドイツがユーロの番人だという事実を、言外に表現していると感じました。

【メッセタワー(Messe Türm)】

フランクフルトのメッセ(見本市)といえば車というイメージが私の中にはあります。モーターショーの会場です。他にも本の見本市も開かれるようです。

【フランクフルト中央駅(Frankfurt Hbf)】

中央駅は地上が ICE を中心とした遠距離列車のホーム、地下に S バーンや U バーンといった地域間列車のホーム、そして駅の前が路面電車(トラム)の乗り場となっており、大体人が多いです。駅にはコインロッカー何カ所もあり、小さいサイズ(機内持ち込み可能サイズのカバン 1 個分)で 3.50 ユーロ、中くらいサイズ(機内持ち込み可能サイズカバン 2 個分)で 5 ユーロでした。大きいサイズ(1 週間分スーツケースサイズ)のコインロッカーもありましたが、はじめから使う気が無いので見ていません。いずれも硬貨のみ対応なので、利用前に 2 ユーロか 1 ユーロ硬貨を何枚か持っておかないといけません。荷物を入れて、お金を入れて、鍵をかける、という手順は日本と同じですね。有人の手荷物預かりもありますが、この近くのコインロッカーはなぜか値段が 1 ユーロ高かったです。

【その他所感】

写真はないですが博物館の前を通過したり、教会の横を通ったりしてあらかた見所という見所は巡った感じがします。都市部なのでお店がブランドのものも含めて豊富ですが、土曜日は地元の人も出かけるのが嫌になるくらい人でごった返すそうです。日本からはるばる観光でお出かけの際は、平日に行かれることをおすすめします。フランクフルトの見所は基本的にコンパクトにまとまっているので、1 日あれば歩いてでも十分まわれると思いました。



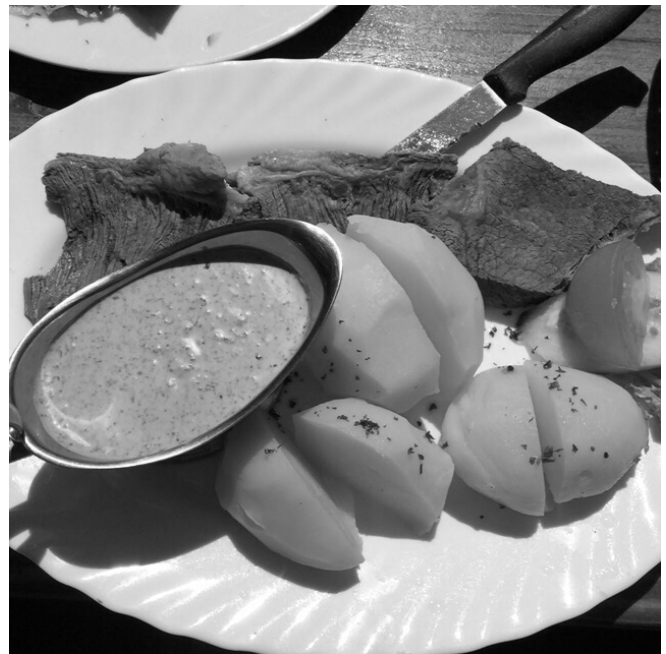
【ツァイル(Zeil)】



【レーマー広場(Römerberg)】



【スカイガーデンからの眺め】



【グリーンソース(Grüne Sause)】



【アイゼルナー小橋(Eiserner Steg)】

(補遺) 飛行機での移動と空港での立ち振る舞いについて

【日本からドイツ到着まで】

ブリティッシュエアウェイズ利用、東京発ロンドン経由フランクフルト行きです。成田ーヒースローの機材はボーイング777-200でビジネス、プレミアムエコノミー、エコノミーの3クラス構成で、今回はビジネスクラス利用です。シートは1世代前のフルフラットシートで、座席部分とフットスツールの2段構えとなっています。昨年はラウンジでしっかり食べてしまったので、機内食は軽くトーストをいただくと思い注文すると、真っ黒に焦げたパンが出てきて失敗しましたが、今日は普通にメニューどおりいただきました。美味しいかと言われると、ラウンジで食べたほうが美味しいです、まずいかと言われるとまずくはない、という感じでした。普通の機内食を陶器に盛り付けて出すような感じ、と言えばわかりやすいかもしれません。お酒は充実していると思いますが、酒を飲めない私には関係のない話です。なので克蘭ベリージュースをおかわりしていただきました。

ヒースロー空港では乗り継ぎなので入国カードの記入は不要ですが、セキュリティチェックを通過する必要があります。昨年は夏だったので休暇の人が多かったのか人が多かったのですが、今回はそんなに大混雑ではなくすんなり通過できました。フランクフルト行きの便を待つため、ラウンジに移動します。フランクフルトへは2時間程度で、ターミナル2に到着します。フランクフルトはターミナル1がルフトハンザとスターアライアンスの航空会社が利用するターミナルで利用者が多いですが、ターミナル2は1と比べると利用者が少ないように見えます。さて、フランクフルトでは税関職員が持ち込み私物に課税してくるという話がインターネット上の口コミサイトなどで流れている、いわゆる税関申告問題ですが、夜に到着だったせいかわかりませんが、そもそも税関職員が表にいませんでした。毎回ドイツに行く際はフランクフルト空港を利用している私ですが、税関職員のお世話になったことは一度もありません。そもそも申告すべきものもないので、難癖つけられても払う税金がないのはもちろんのことです。

【ドイツから日本へ帰国まで】

帰りの空港ではチェックインカウンターの人が、並んで待っている人をお構いなく、締め切りが早い便の人をどんどん呼び出して割り込みで受付するので、カウンター前が人でごった返した状態でした。私の前にはロンドン経由でサンディエゴに向かう大学教授の人がいましたが、「カオスだ」「無秩序だ」とかいう雑談をドイツ語でしながら、秩序が戻るのを待ってチェックインを済ませラウンジへ向かい、ジンジャーエールを飲んでしばらくして搭乗ゲートへ行くと、ここでの保安検査がチェックインカウンター同様のカオスで、出発が近い便の人を、それまで列で待っている人などお構い無しに割り込ませていました。その結果、ビジネスクラスの優先レーンよりエコノミークラスのレーンの方が速い始末で、優先レーンに並んでいた私はエコノミーの方に案内されました。割り込みを許さないくらい厳格に決まりを守ろうとすり思想が徹底しているドイツにしては珍しい光景だと思いました。

ヒースロー空港に到着すると、乗り継ぎチェックインです。この日は通常のカウンターは最後尾が見えないくらい長い列が出来ていましたが、ビジネスクラス利用なのでFast Trackという優先レーンを使えますので、列に並ばず乗り継ぎチェックインをします。保安検査は10人くらい前にいましたが、流れ作業なのであっさり通過しました。その後はラウンジへ移動し、チーズをいただきます。ゲート番号が表示されて、時間を見計らって搭乗口に移動すると、ちょうど優先搭乗が終わって全ての人の搭乗が始まったところでした。搭乗口の係員の人に「日本のパスポートは赤と青があるのはなんで??」と聞かれたので、「青が5年有効で、赤が10年有効なんです」と答えると「Good to know, thank you」と言われました。何でこんなことを聞かれたのかと言うと、私のパスポートは紺色の5年ものだったからです。

搭乗後、手荷物を預けたのに搭乗しなかった人がいたためその手荷物を出す作業で10分余分に時間がかかり、「安全のためのご案内」ビデオの救命胴衣のところから音が出なくなり読み上げ対応となり、離陸後の機内エンターテインメントが不調のため修理にとりかかる、といろんなことが起こっていました。